

# 2013年3月期 第2四半期連結決算ハイライト

阪和興業株式会社

(単位：億円 億円未満切捨て)

## 2013年3月期 第2四半期決算の概要

・本年度第2四半期決算は、鉄鋼や金属原料、非鉄金属事業での販売価格の低下などにより、売上高は前年同期比4%減の7,355億円となりました。また、四半期純損益は投資有価証券評価損の特別損失への計上などにより、87百万円の純損失となりました。

・中間配当は4円とし、期末配当見込み6円と合わせて、年間配当は10円を予定しております。

経営成績	当第2四半期 (累計)	前第2四半期 (累計)	前年同期比		主な要因
			増減	増減率	
売上高	7,355	7,626	△271	△4%	(売上高) 鉄鋼、金属原料、非鉄金属事業において、販売数量は前年同期比増量となるも、販売価格の下落により、前年同期比4%の減少となった。  (販管費) 前年同期比で若干の減少となった。その内、人件費は約2億円の減少に。大きな貸倒は、現在まで発生していない。  (営業外損益) 為替差益の減少などにより、営業外収入は39%の減少に、営業外費用はほぼ横ばいとなった。  (特別損益) 株式市況の下落による投資有価証券評価損約41億円、大阪本社移転に伴う減損損失約2億円を計上した。
売上総利益	206	258	△52	△20%	
販管費	156	157	△1	△1%	
営業利益	50	101	△51	△50%	
営業外収益	12	21	△9	△39%	
営業外費用	21	21	0	△1%	
経常利益	42	101	△59	△58%	
特別利益	—	—	—	—	
特別損失	43	33	10	32%	
税引前当期純利益	△1	68	△69	—	
法人税等	△0	28	△28	—	
少数株主損益	△0	1	△1	—	
当期純利益	△0	38	△38	—	
E P S	△0.42円	18.44円	△18.86円	—	
当期包括利益	△18	35	△53	—	

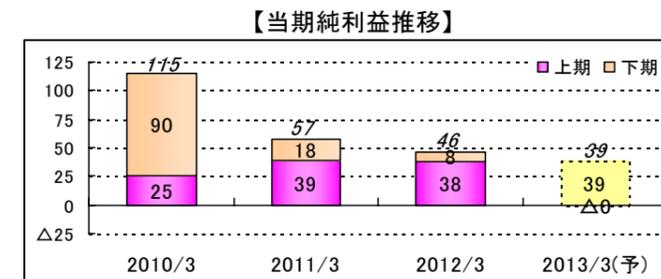
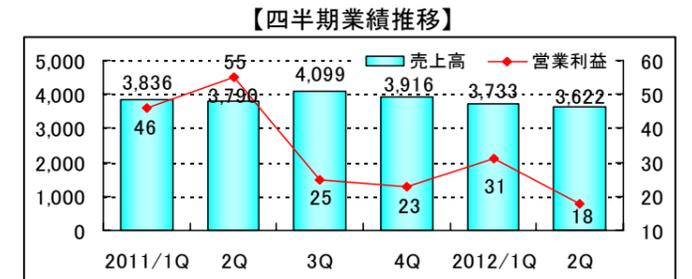
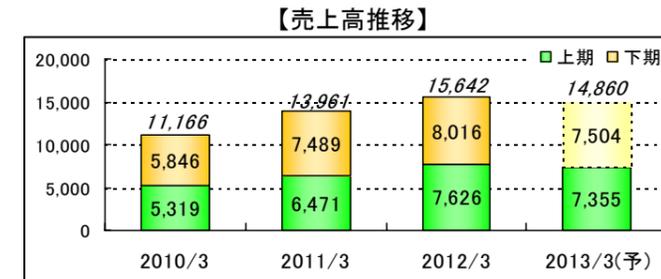
財政状態	当第2四半期末	前期末	前期比		主な要因
			増減	増減率	
総資産	5,382	5,824	△442	△8%	(総資産) 売上高の減少に伴う売上債権やたな卸資産の減少などにより、前期末比8%の減少となった。 たな卸資産 914億円 (前期末比 △18%)
(流動資産)	4,287	4,679	△392	△8%	
(固定資産)	1,094	1,144	△50	△4%	
負債	4,251	4,664	△413	△9%	(負債) 売上高の減少に伴う仕入債務の減少や短期借入金の減少などにより、前期比9%の減少。有利子負債は4%減少となったが、ネットDERは1.9倍の横ばい。
(グロス有利子負債)	2,333	2,431	△98	△4%	
(ネット有利子負債)	2,139	2,195	△56	△3%	
Net DER	1.9倍	1.9倍	△0.0倍	△0%	
純資産	1,130	1,159	△29	△3%	(純資産) 四半期純損益が純損失となり、利益剰余金が減少したことやその他有価証券評価差額金の減少などにより、前期比3%減少した。 一方、自己資本比率は20.6%と若干改善した。
(株主資本)	1,131	1,142	△11	△1%	
(その他の包括利益累計額)	△23	△5	△18	301%	
(少数株主持分)	22	23	△1	△2%	
B P S	534.55円	548.22円	△13.67円	△2%	
自己資本	1,107	1,136	△29	△3%	
自己資本比率	20.6%	19.5%	1.1pt	—	

キャッシュ・フロー	当第2四半期 (累計)	前第2四半期 (累計)	前年同期比		主な要因
			増減	増減率	
営業活動によるCF	138	37	101	270%	(営業CF) 売上債権やたな卸資産の減少により、+138億円
投資活動によるCF	△25	△61	36	△59%	(投資CF) 有形固定資産や投資有価証券の取得により、△25億円
財務活動によるCF	△155	△1	△154	—	(財務CF) 短期借入金の返済などにより、△155億円
現金及び現金同等物	193	189	4	2%	

セグメントの状況	売上高			セグメント利益(経常利益)			主な要因
	当第2四半期	前第2四半期	増減率	当第2四半期	前第2四半期	増減率	
鉄鋼	3,556	3,666	△3%	39	43	△10%	(鉄鋼) 製造業向け、建設土木向けともに需要は堅調に推移したものの、鋼材市況が前年下期からの下落基調を継続し、収益を圧迫した。  (金属原料) ステンレス需要の低迷により、ニッケルや合金鉄の市況、需要ともに軟調な推移に。スクラップの仕入れコスト上昇も利益を押し下げた。  (非鉄金属) 需要は堅調も、市況は概ね下落基調。仕入れコスト上昇とデリバティブ時価評価益の減少により収益は低調となった。  (食品) 国内需要は低調推移。養殖サケが続落し、他魚種の市況・消費にも悪影響。エビ価格の下落も業績を下押しした。  (石油・化成品) 子会社と連携して拡販するも、震災関連特需の終息と仕入れ価格の上昇で減益となった。
金属原料	506	683	△26%	12	23	△46%	
非鉄金属	327	335	△2%	3	15	△76%	
食品	461	462	△0%	4	9	△58%	
石油・化成品	2,042	2,033	0%	3	13	△76%	
報告セグメント計	6,893	7,180	△4%	63	105	△40%	
その他	826	770	7%	6	14	△53%	
合計	7,720	7,951	△3%	69	119	△42%	
調整額	△364	△324	△12%	△27	△18	△50%	
PL計上額	7,355	7,626	△4%	42	101	△58%	

**トピックス**

- ・ 6月 中国渤海鋼鉄集団と包括提携調印
- ・ 8月 ㈱力ネキ、廣内庄延工業㈱を子会社化
- ・ 10月 正起金属加工㈱に出資 (2014年9月に子会社化予定)



通期の見通し	通期業績予想	前期実績	対前期増減率
売上高	14,860	15,642	△5%
営業利益	123	149	△18%
経常利益	106	131	△19%
当期純利益	39	46	△16%

配当の状況	前期実績	当期実績	当期予想
中間期	6.00円	4.00円	—
期末	6.00円	—	6.00円
年間配当	12.00円	—	10.00円
配当性向	54%	—	53%